

## 共同研究グループ：シビル・ベテランズ&ボランティアズ(CVV)

### ワークショップ開催のご案内

一線を引いた土木技術者が奉仕として土木事業に貢献するにも、現役時に組織として活動しており、また土木事業は多岐の技術・分野の総合で成り立つことから、個人での奉仕では限界がある。そこでCVV (Civil Veterans & Volunteers) として組織化し、多様な土木技術者・他分野の退職者が知恵を出し合って社会貢献することを目指し約20年前から活動している。ただこのような活動が土木分野で成果を挙げた例は無く、具体的な社会貢献につなげることを主眼に模索している。特にここ数年、団塊の世代が退職し、土木分野でも技術継承が課題になっている一方、若手技術者の減少から学会活動を支える幹事団への支援も必要となりつつある。そのため、「技術継承」、「市民への土木広報」をキーワードとして平成28年度共同研究グループ活動を行った。

本ワークショップでは平成28年度の活動成果として、大阪市内の橋を巡る市民向けの見学会開催や市民に分かりやすく大阪の橋を紹介する広報資料作成を目指した活動内容として、「浪速の名橋50選」の改訂作業内容を紹介する。また、若手技術者への技術継承を目指し取り組んでいる自治体支援活動などを報告する。

#### 記

開催日時：2017年5月27日(土) 14:30～16:30

開催会場：大阪工業大学 大宮キャンパス 1号館 121教室

[http://www.oit.ac.jp/japanese/oit/access\\_omiya.html](http://www.oit.ac.jp/japanese/oit/access_omiya.html) (会場案内図)

土木学会関西支部のWEBサイトも参照ください

<http://www.jsce-kansai.net/?p=879> (平成29年度年次学術講演会開催案内)

#### プログラム (予定)

14:30～14:40 開会挨拶・趣旨説明 代表 古田 均 (関西大学)

14:40～15:30 「浪速の名橋50選」改訂について

改訂経緯、橋梁調査結果等 黒山 泰弘 ((一財)都市技術センター)

広報資料 (HP掲載向け) 作成 田中 洋 (株吉田組)

15:30～15:50 自治体支援等について 夏秋 義広 ((一社)日本橋梁建設協会)

15:50～16:25 ディスカッション

16:25～16:30 閉会挨拶 川谷 充郎 (神戸大学)

参考：CVVのホームページ <http://www.cvv.jp/>